

OECD Health Data を用いた 外来薬剤費の国際比較

外来薬剤費の国際比較(2001年)

先進4ヶ国で見ると、日本の外来薬剤比率はフランスに次ぐが、
対GDP比と国民一人当たり薬剤費は最低。

	日本	アメリカ	ドイツ	フランス
薬剤比率	15.4%	10.1%	12.3%	16.6%
薬剤費の対GDP比	1.21%	1.41%	1.32%	1.57%
(医療費の対GDP比)	(7.8%)	(13.9%)	(10.8%)	(9.4%)
国民一人当たり薬剤費	320ドル	494ドル	337ドル	430ドル

※国民一人当たり薬剤費はUS\$,購買力平価

出典: OECD Health Data 2004 (※イギリスのデータは存在しない)

OECD Health Data を用いた 従来の外来薬剤費の国際比較

<従来の外来薬剤費比較>

2010年度データ	日本	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス
外来薬剤費率	20.3%	11.8%	11.4%*	14.7%	15.9%

Total expenditure on pharmaceuticals and other medical non-durables, % total expenditure on health, THE: OECD Health Data 2013

※イギリスの医療費は2008年データ

Year	2010					
	Function	HCTOTHCR1 : Total expenditure HC.1-HC.9; HC.R.1	HC5: Medical goods	HC5: Medical goods		
HC51: Pharmaceutical and other medical non-durables				HC51: Pharmaceutical and other medical non-durables	HC511: Prescribed medicines	HC512: Over-the-counter medicines
France	100.0	20.4	15.9	12.7	2.5	0.6
Germany	100.0	19.5	14.7	13.1	1.6	0.0
Japan	100.0	21.4	20.3	17.2	3.0	0.1
United Kingdom	100.0		11.4*
United States	100.0	13.2	11.8	10.0	1.7	0.1

※イギリスの医療費は2008年データ

- ◆ これまでのOECD Health Dataに基づく、外来薬剤費の国際比較は、HC.5.1（医薬品とその他の非耐久性医療財）の数値をそのまま比較していたもの。
- ◆ 一般用医薬品を含み、総保健医療支出（Total Expenditure on Health）を100とした数値。

OECD Health Data 2013における医療費支出

～保健勘定国際分類(ICHA)と機能分類による医療費～

ICHA : **International Classification for Health Accounts**
HC : functional components of **health care** items
HC.R : functional components of **health care-related** items

① Total expenditure on health

② Total current expenditure

③ Total expenditure on personal health

HC.1 Services of curative care

診療サービス

HC.2 Services of rehabilitative care

リハビリサービス

HC.3 Services of long-term nursing care

長期医療系サービス

HC.4 Ancillary services to health care

医療の補助的サービス

HC.5 Medical goods dispensed to out-patients

外来患者への医療財提供

Total expenditure on collective health

HC.6 Services of prevention and public health

予防・公衆衛生サービス

HC.7 Health administration and health insurance

管理業務と医療保険

HC.9 Expenditure on services not allocated by function

その他未分類

HC.R1 Investment (gross capital formation) in health

医療機関の資本形成

機能別医療費支出の類型と問題点

～保健勘定国際分類(ICHA)と機能分類による医療費～

OECD Health Dataにおける機能別医療費支出の推計では、医療費の総額について、以下の3種類の類型で集計している。なお、各国で取扱が異なるため、医療費に対する概念は必ずしも国際的に統一しているものではない。

①総保健医療支出 (Total expenditure on health)

- ◆すべての機能別分類 (HC.1～HC.9) に、保健医療関連機能分類のうち、保健医療提供機関の資本形成に関する区分 (HC.R.1) を合算した類型
- 医療機関の資産形成や予防給付、保険給付の事務経費、一般薬等の支出が含まれてしまう。

②経常保健医療支出 (Total current expenditure)

- ◆すべての機能別分類(HC.1～HC.9)を合算した類型。
- ◆医療提供機関における資本形成部分を算入していないため、医療・介護給付にかかった経費とされている。
- 予防給付や保険給付の事務経費、一般薬等の支出が含まれてしまう。

③個別的保健医療費支出 (Total expenditure on personal health)

- ◆すべての機能別分類のうち、HC.6(予防及び公衆衛生サービス)及びHC.7(保健医療管理業務・医療保険)を除いた区分(HC.1～HC.5)を合算した類型。
- ◆健康保険の給付対象外の予防給付(介護)を算入しているため、実質の医療・介護給付にかかった経費とされている。
- 介護給付や一般薬等の支出が含まれてしまう。

外来薬剤費率を比較するための機能別医療費支出

HC.1 Services of curative care	診療サービス
HC.2 Services of rehabilitative care	リハビリサービス
HC.3 Services of long-term nursing care	長期医療系サービス
HC.4 Ancillary services to health care	医療の補助的サービス
HC.5 Medical goods dispensed to out-patients	外来患者への医療財提供
HC.5.1 Pharmaceuticals and other medical non-durables	医薬品とその他の非耐久医療財
HC.5.1.1 Prescribed medicines	処方薬
HC.5.1.2 Over-the-counter medicines	一般薬
HC.5.1.3 Other medical non-durables	その他の非耐久性医療財
HC.5.2 Pharmaceutical appliances and other medical durables	医薬機器と耐久医療財

<薬剤費>

薬価収載品に該当する「HC.5.1.1. 処方薬」部分とすることが適当。

<医療費>

診療費に該当するHC.1、HC.2及びHC.4と、薬剤費に相当する「HC.5.1.1. 処方薬」の合計額とするのが適当。

OECD Health Data 2013から推計する外来薬剤費率

- ◆ 外来薬剤費率を比較する際の総医療費に相当する医療費支出については、
③個別的保健医療費支出（Total expenditure on personal health : HC.1～HC.5）のうち、
 - 介護経費相当部分（HC.3）
 - 処方薬以外の薬剤費等（HC5.1.1以外のHC.5）を除いた医療費支出を医療費総支出と見なすことが適当。
- ◆ 外来薬剤費率を比較する際の薬剤費については、HC.5のうち処方せん薬該当部分（HC.5.1.1）とするのが適当。
- ◆ 以上のことから、外来薬剤費率は以下の式で算出するのが適当。
- ◆ なお、各国の制度が異なるため、正確な比較には限界があるため、直接的な数値比較よりも、経時推移を比較する方が合理的であると思われる。

$$\text{外来薬剤費率} = \frac{\text{薬剤費}}{\text{医療費}} = \frac{\text{HC5.1.1}}{\text{HC.1} + \text{HC.2} + \text{HC.4} + \text{HC.5.1.1}}$$

OECD Health Data 2013から推計する外来薬剤費率

$$\text{外来薬剤費率} = \frac{\text{薬剤費}}{\text{医療費}} = \frac{\text{HC5.1.1}}{\text{HC.1} + \text{HC.2} + \text{HC.4} + \text{HC.5.1.1}}$$

直近の数値（2010年）のデータから算出。
 単位：百万ドル（ Million US\$, purchasing power parity ）

	薬剤費				医療費	薬剤比率
	①HC.1	②HC.2	③HC.4	④HC.5.1.1	⑤Σ①～④	④／⑤
フランス	126709	7798	12931	33102	180540	18.3%
ドイツ	173548	10791	16157	46536	247032	18.8%
イギリス	—	—	—	—	—	—
アメリカ	1703521		0	255657	1959178	13.0%
日本	256126	4469	3051	70806	334452	21.2%

出展：OECD Health Data 2013

- ◆外来薬剤比率については、米国が13%程度と著しく低値だが、フランス、ドイツともに18～19%程度、日本は21%程度と若干欧州よりも高率。
- ◆しかし、各国の制度が異なり、集計時に各項目に計上する推計方法等が公開されていないため、同じ条件での比較は困難。

OECD Health Data 2013から推計する 外来薬剤費率の経時推移

$$\text{外来薬剤費率} = \frac{\text{薬剤費}}{\text{医療費}} = \frac{\text{HC5.1.1}}{\text{HC.1} + \text{HC.2} + \text{HC.4} + \text{HC.5.1.1}}$$

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
フランス	19.7%	19.8%	19.8%	19.2%	19.2%	18.8%	18.6%	18.3%
ドイツ	18.3%	17.3%	19.0%	18.7%	19.2%	19.3%	19.2%	18.8%
アメリカ	13.4%	13.6%	13.5%	13.9%	13.8%	13.5%	13.5%	13.0%
日本	20.1%	20.0%	20.9%	20.8%	21.0%	20.4%	21.6%	21.2%

出展：OECD Health Data 2013

◆外来薬剤比率の経時推移について、各国別にみると、アメリカは13%台で一定しているが、フランス及びドイツは18～19%を前後しており、日本は20～21%前後を推移しており、若干高めであるものの、推移の幅は類似している。

OECD Health Data 2013から推計する 人口一人当たりの外来薬剤費比較

	薬剤費	人口	人口当たり薬剤費
	①HC.5.1.1※1	②人口※2	①／②
フランス	33102	6483万人	510.6ドル/人
ドイツ	46536	8178万人	569.0ドル/人
イギリス	—	6134万人	—
アメリカ	255657	30933万人	826.5ドル/人
日本	70806	12806万人	552.9ドル/人

※1：2010年のデータ(OECD Health Data 2013)。単位：百万ドル (Million US\$, purchasing power parity)

※2：2010年時の人口 (OECD Health Data 2013)

- ◆薬剤費（絶対額）ではアメリカ、日本、ドイツ、フランスの順に高額となっているが、人口もまた、この順が多い。
- ◆人口1人あたりに換算すると、薬剤費はアメリカは依然として1位だが、他はドイツ、日本、フランスの順になり、その額もほぼ同額（五百数十ドル）になる。

OECD Health Data 2013から推計する 薬剤費及び医療費のGDP比

	薬剤費	医療費		薬剤費の GDP比	医療費の GDP比
	① HC.5.1.1	②HC.1+HC.2 +HC.4+HC.5.1.1	③GDP	①／③	②／③
フランス	33102	180540	2229618	1.48%	8.10%
ドイツ	46536	247032	3079031.7	1.51%	8.02%
イギリス	—	—	2197778.4	—	—
アメリカ	255657	1959178	14419400	1.77%	13.59%
日本	70806	334452	4290995	1.65%	7.79%

直近の数値（2010年）のデータから算出。
単位：百万ドル（Million US\$, purchasing power parity）

出展：OECD Health Data 2013